

第5回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会（臨時）（平成30年5月30日開催）

平成30年5月18日からの大雨に伴う出水の概要・雄物川河川激甚災害対策緊急事業の状況説明

- 協議会委員18名の参加のもと、「第5回雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会（臨時）」を開催し、事務局から平成30年5月18日からの大雨に伴う出水概要の報告を行った上で、大仙市長・仙北市長・美郷町長・羽後町長より各自治体の出水時の対応等について説明していただいた。
- 雄物川河川激甚災害対策緊急事業の状況報告を行い、大仙市長より要望をいただいた。

開催日：平成30年5月30日（水）

※代理出席

会場：大仙市大曲交流センター

委員構成：秋田市長※

秋田県

総務部 危機管理監※

横手市長※

建設部 部長※

湯沢市長※

秋田地域振興局長※

大仙市長

仙北地域振興局長

仙北市長

平鹿地域振興局長

美郷町長

雄勝地域振興局長

羽後町長

気象庁

秋田地方気象台長※

東成瀬村長※

国土交通省

秋田河川国道事務所長

玉川ダム管理所長

湯沢河川国道事務所長



協議会の開催状況



委員からの発言（左：大仙市長 右：仙北市長）



委員からの発言（左：美郷町長 右：羽後町長）



委員からの発言（左：美郷町長 右：羽後町長）



委員からの発言（左：美郷町長 右：羽後町長）

主な発言内容（発言順）

●5月18日の出水時の対応について

■大仙市長

- ・寺館大巻、中村芦沢、協和地区で溢水があったが、昨年度の教訓を生かし、混乱なく対応ができた。
- ・湯沢河川国道事務所長や秋田地方気象台長から情報提供していただくとともに、湯沢河川国道事務所から早めに派遣していただいたリエゾンから情報を提供してもらい、早め早めの対応ができた。
- ・新たに災害対策本部として業務用の執務室を設け、関係者全員参集することで情報共有が図れた。

■仙北市長

- ・先日の大雨では大変緊張した。リアルタイムでの災害対応はうまく進んだが、情報の受信・発信について手戻りが生じたため反省している。
- ・避難所の開設に時間をかけてしまったので、今後は事前に準備しておきたい。

■美郷町長

- ・美郷町内にある県管理河川の中には水位計が設置されていない河川があるため、目視で水位を確認し住民に対して適切な避難準備情報を発信していた。
- ・危険と思われる箇所、被害が大きいと思われる箇所に水位計があると、適切な情報を適宜捉えることができるので、更なる、水位計の設置を要望していきたい。

■羽後町長

- ・羽後町は昨年、一昨年の水害では時間雨量もそれほど多くなかったため、浸水被害・避難勧告を発令する状況にはならなかった。
- ・雄物川水系では水位計があるが、子吉川水系の上流部には水位計がなかったので、県と協議し簡易型の水位計を設置していただけたこととなったので、情報把握が早めになると思う。
- ・以前は、籾ノ巣と貝沢で浸水被害が多発していたが、堤防整備や堰の改築により浸水被害が解消された。

●激甚災害対策特別緊急事業の状況について

■大仙市長

- ・異常気象多発時代でもありますので、現場も大変かと思いますが、堤防整備事業の前倒しをするという意識で対応をお願いしたい。
- ・県管理河川等の内水についても、対策が必要と考えている。